

VOL.
08with **LIFE**バイク業界の
10年後を予想する

CASE時代のバイク業界の近未来

大幅な強化が予想されるユーロ6排ガス規制、2030年頃から世界各国で始まるガソリン車の販売の停止。これらを受けて日本でも2040年代までにガソリン車のバイク販売ゼロを目指す動きがあります。ガソリン車に代わって電動バイクが主流になると業界に様々な変化が訪れると予想されます。ガソリンスタンドは減少し、バイク用品メーカーも激変するでしょう。バイ

ク部品が削減されれば整備中心のバイク屋さんでは経営が厳しくなります。そもそも電動バイクはガソリンエンジンを積んだバイクとは異質の乗り物なので、今までのバイクとは違った方向へ技術力を進化・発展させていくことでしょう。

しかし、バイク業界の近未来は暗いモノばかりではありません。電動化による新たなサービスが生まれるので、考え方によっては希望あり

る未来かもしれません。例えば古いバイクをEV化するサービスや、バイクのサブスク化は加速するでしょう。ディーラーで新車を買う時代は終わり、バイクはネット注文が常識になるかもしれません。構造が簡単になるのでバイクと全く関係ないベンチャー企業などが新たにバイク業界へ参入してくるかもしれません。これらに携わる新しいビジネスが次々と生まれてくる可能性があります。

元レーシングドライバーBobby Unserの名言に「成功は準備とチャンスが会うところにある」という言葉があります。そう考えればバイク業界の10年後を想像することは、何かの成功をもたらすことを示しているのかもしれません。



This season's
pickup!

今年も空からやってくる 春のメンテでクルマの天敵シャットアウト！



ボンネットや窓に付着する避けられない汚れやしミ

雨で濡れる前に汚れを洗い流しておきたいけれど、こまめな洗車はなかなかできないもの…。せめて対策をして愛車のダメージを減らしたい。



深刻なダメージ、その正体は

飛来する花粉や黄砂、PM2.5でもクルマも悩む季節となりました。

花粉は黄色っぽく粘り気があり、ペクチンというタンパク質を含んでいるので、雨で濡れて乾くとシミになります。

黄砂やPM2.5はどちらも粉状のような感触ですが、こちらも水分が乾くと白いシミを残し、通常の洗車では落ちにくい厄介な汚れとなってしまいます。

「いつもの行動」が危険

この汚れが積もった状態でクルマをこする、ワイパーを動かすと粒子がやすりのようにボディやフロントガラスを傷つけ、ボディの洗車傷、視界不良などの原因となります。

花粉、黄砂汚れは避けられませんが、通常より洗車頻度を上げる、カーシャンプーやぬるま湯で洗車するなどの対策をし、この辛い時期を乗り越えましょう。

＼ココロがけたい！／

「いつもの行動」に+α

- ① 花粉・黄砂対策として、できる限り雨が降る前に洗車をする。
- ② 花粉シミになってしまったら研磨をせずに、ぬるま湯をかけて落とすようにする。
- ③ 潤滑性が高いカーシャンプーを使い、ボディをやさしく洗う。
- ④ ワイパーはG vision 撥水シリコンワイパーがおすすめ！



引用元:①・②・③⇒【解決】車の花粉と黄砂 対策は？ 春のメンテナンスで一番大切なのは、こまめな洗車
<https://rakkocar-blog.com/measures-against-pollen-and-yellow-sand/>



ATTENTION!

G vision

ウィンドウ撥水コート90
ウィンドウ油膜除去剤MP
(マルチパーパス)

傷つけることなく
油膜を除去。
雨粒も弾き飛ばし、
クリアな視界に。

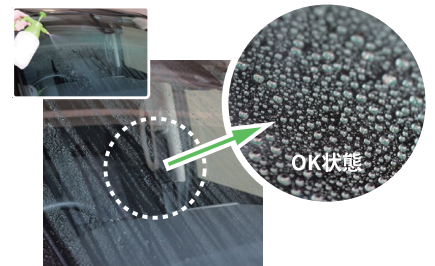


強力な撥水性に加え、
強固な耐久・防汚性と夜間のキラつきを解消。

キレイなフロントガラスが安全運転に繋がる

フロントガラスに溜まった花粉や黄砂などの汚れは走行時の視界を悪くし、思わぬ事故に繋がります。

3種類の研磨剤配合のウィンドウ油膜除去剤はガラス面に傷をつけることなく、頑固な汚れを効率的に除去。研磨剤(ケイソウ土)とシリコン系撥水コート剤を組み合わせたウィンドウ撥水コートで雨スジも残さず、ワイパージャダー(ビビリ)も抑えます。



※必ず撥水シリコンワイパー替えゴムに交換してください。